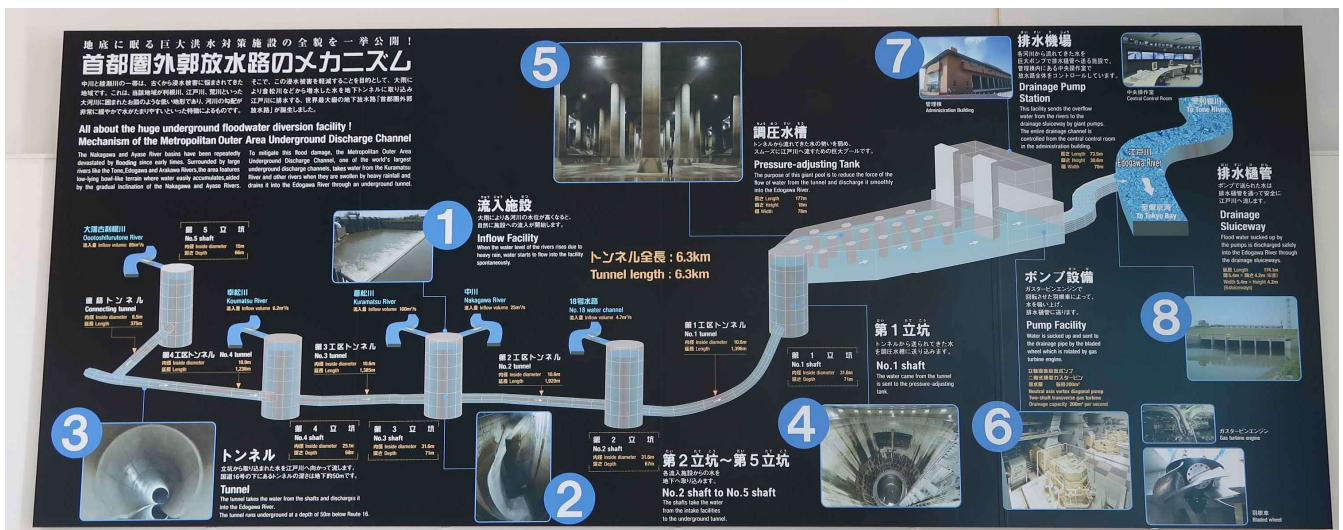


11月19日10時、春日部駅レンタカー駅前店に集合し、菅原さん運転のマイクロバス、桜井さんのマイカーで12名が参加しました。

最初は、首都圏外郭放水路を見学しました。資料館の説明員から平成12年7月台風3号の大雨被害と平成16年10月の台風22号の状況を資料にて説明され、16号線の直下に地下50m、直径10mのトンネル(6.3km)と5本の立坑で繋がり、調圧水槽に貯めた水を巨大なポンプで江戸川に流す仕組みによって浸水被害を大幅に軽減させたことに非常に驚きました。中川から綾瀬川は、80kmの距離で高低差20mという水が溜まりやすい皿のような地形で絶えず洪水に悩まされていたようで、各家々には軒下に小舟が吊られていたといひます。総工費2,300億円の費用対効果ですが、浸水戸数を大幅に減らし、杉戸町に産業団地、春日部にイオン、越谷にレイクタウンなどが出来、町が新しくできる計り知れない効果を上げたと言われ、大事業の効果に改めて驚きました。



資料館の説明が終わり、116段の階段をゆっくり降りた先の調圧水槽は、まさにギリシャ神殿に出てくる神殿そのものでした。第5立坑から第1立坑へトンネルを流れてきた水の勢いを弱め、スムーズに江戸川に流すための巨大なプール(長さ177m・幅78m・高さ18m)でしたもし私一人だけしかここにいなければ、大声で叫び、その反響を聞きたい衝動にかられました。



この地下神殿の天井は、グランドになっており、子供達がサッカーを楽しんでいるのをみて遠く異国の地では戦場になっており、日本はいつまでも平和であってほしいと思いました。

鈴木貫太郎記念館では、2.26事件の生々しい奥さんの録音インタビューを聞きました。言論を銃で圧殺する行為は、許されませんが、3発の銃弾を受けながらもよく回復して、終戦時の総理大臣になったと思いました。昭和天皇の幼少期の世話係だった奥さん、侍従長だった鈴木さん、この時代の天皇との信頼関係が基礎になったと思われる終戦時のドラマチックな裏舞台が説明され、初めて聞く話だけに大変興味深く勉強になりました。



この後、けやき茶屋での昼食、関宿城博物館を見学し、渡良瀬遊水地へと向かいました。この遊水地では、桜井さんから足尾銅山の鉱毒被害から流域の農民を救うため命をかけて時の政府と闘った田中正造の姿が語られ、感銘を受けました。また、この遊水地の建設のため、谷中村が強制的に壊滅されていく悲劇があったことに時の権力者の恐ろしさを感じました。



渡良瀬川と利根川の合流地点に中条堤という遊水地がありましたが、上流と下流との紛争で閉めざるを得なくなり、この遊水地を造らざるを得なくなったそうです。



この遊水地展望台（ウオッチングタワー）の橋脚部上部に私の身長3倍以上もの高さに、2019年10月の台風19号による洪水時水位と記された標識がありました。渡良瀬遊水池は、外周がほぼ山の手線と同じぐらいの広さがあり、流域幅を考えるとこの洪水の激しさを想像して恐ろしくなりました。

またこの遊水地は、静かなバードウォッチの穴場になっており、この日も望遠レンズのカメラで小鳥の姿を覗くカメラマンの姿が多数おりました。一日中穏やかな晴れの天候に恵まれ、大変楽しく、私的には知的レベルが若干上がったような気がする一日でした。

菅原さん、運転お疲れ様でした。桜井さん、資料作成・観光ガイド、運転ありがとうございました。



後列:伊藤(s38 電) 松崎(43 土) 三橋(s41 工) 桜井(s38 通) 石堂(s39 土) 菅原(s45 機)
田中(s43 建) 松平(s43 機) ニツ屋(s42 機) 前列:吉田(s39 電) 篠原(s43 土) 大澤(s43 電)